

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

京極町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道虻田郡京極町

3 地域再生計画の区域

北海道虻田郡京極町の全域

4 地域再生計画の目標

国勢調査で本町の総人口の推移をみると、1995年ごろまで減少傾向、その後、北電発電所建設関係者等により増加に転じ、2010年には3,811人となっています。一方、住民基本台帳の推移をみると、2005年以降も減少が続いており、2015年1月現在で3,155人となっています。

年齢3区分別人口の推移をみると、1980年には2割以上あった年少人口割合が2015年には約1割まで減少する一方、老年人口割合は3割近くまで上昇しており、少子高齢化が進行しています。京極町人口ビジョンの推計によると、2060年には総人口が1,590人まで減少し、また年齢3区分別の人口割合については、年少人口は10%未満となる一方で、高齢人口は40%を超えると見込まれており、今後一層の少子高齢化が予想されています。

自然動態については、出生数が毎年20～40人で推移している一方で死亡数は近年毎年50人前後であることが影響し、自然減の幅が増大しつつあります。令和元年には41人の自然減となっています。なお、合計特殊出生率は近年1.50前後で推移しており、全国に比べると高い傾向にあります。

また、社会動態については、転入数が1999年をピークに減少傾向にあること、転出数が増加傾向にあることから、転出数が転入数を上回

る社会減の状態となっています。令和元年には27人の社会減となっています。

このような人口動態となった要因としては、やりがいのある就労の場が少ないこと、交通機関の不便さ等が考えられます。

この状態が続くと、直接的・間接的に地域コミュニティや地域経済、地方財政等に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

これらの課題に対応するため、本町では地域資源を活かした産業の活性化と雇用の拡大、本町への移住・定住を実現できる生活環境の整備、希望する結婚・出産・子育てをかなえるための支援や福祉・医療体制の充実を図り、2060年に2,000人の人口を維持することを目指します。なお、具体的な事業は以下の基本目標に基づいて行います。

- ・基本目標 1 魅力ある産業・観光・雇用を創出する
- ・基本目標 2 京極町への人の流れをつくる
- ・基本目標 3 希望する結婚・出産・子育ての実現を支援する
- ・基本目標 4 安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2026年度)	達成に寄与 する地方版 総合戦略の 基本目標
ア	町内従事者数	1,405人	1,500人	基本目標 1
	町民の平均所得	272.6万円	272.6万円 (現状維持)	
イ	転入超過数	-5人	0人	基本目標 2
ウ	出生数 (直近4年平均)	15人	23人	基本目標 3
エ	今後も、京極町で住み続けたいと思う人の割合	28.9%	28.9% (現状維持)	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人
に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

京極町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 魅力ある産業・観光・雇用を創出する事業

イ 京極町への人の流れを作る事業

ウ 希望する結婚・出産・子育ての実現を支援する事業

エ 安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

② 事業の内容

ア 魅力ある産業・観光・雇用を創出する事業

高品質な農産物及び貴重な観光資源のさらなる高付加価値化とプロモーションにより、生業として魅力ある農業・観光振興を図ります。また、本町の強みを活かした企業誘致および起業支援を行い、新たな雇用を創出します。

【具体的な取組】

- ・労働力の確保
- ・地域資源を活用した観光の充実
- ・新規起業家に向けた支援 等

イ 京極町への人の流れを作る事業

さまざまな取組を通じて本町を訪れる人を増やしつつ、多様な体験・交流の中から本町への誇りと愛着を醸成するとともに、利便性が高い居住・生活環境を整備し、若者の定住・移住を促進します。

【具体的な取組】

- ・就労に関する情報発信

- ・ 空き家の活用
- ・ 特色ある学校教育の推進 等

ウ 希望する結婚・出産・子育ての実現を支援する事業

出会いの場の創出や安全・安心して出産できる環境づくり、子育てに対する負担感の軽減、安心できる保健・医療体制の強化を図り、希望する結婚・出産・子育ての実現を支援します。

【具体的な取組】

- ・ 不妊に対する支援の充実
- ・ 子育て家庭への支援の充実 等

エ 安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する事業

医療や福祉の多様なニーズに対応するとともに、各ライフステージにおける健康づくりの推進や支え合い機能の強化等、地域の実態に合った安心で暮らしやすい生活環境づくりを目指します。

【具体的な取組】

- ・ 救急医療の充実
- ・ 周産期医療への支援・小児医療・学校保健の充実 等

※ なお、詳細はまち・ひと・しごと創生京極町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4 の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

45,000 千円（2020 年度～2026 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCA サイクル）

毎年度 3 月を目処に総合戦略策定の中心となった産業、金融、教育、福祉、子育て及び自治体の関係者、女性活動の向上に資する活動を行う者からなる京極町地方創生検討委員会にて事業内容などについて検証を行う。検証後は、京極町ホームページ上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2027 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2027 年 3 月 31 日まで